

2014年2月4日
東日本旅客鉄道株式会社

中央線新型特急電車(E353系)量産先行車新造について

JR東日本では、老朽化した中央線特急E351系の取替を目的に、性能評価や技術検証を行うために中央線特急用の新型車両(E353系)の先行車を製作することとしました。

先行車は「基本9両編成」、「付属3両編成」の計12両製作し、2015年夏以降に落成する予定です。

1. デザインコンセプト

「伝統の継承」と「未来への躍動」をコンセプトとして、あずさのDNAを引き継ぎながら、日本の中央を走る新時代のダイナミズムを表現し観光・ビジネスユースに対応したデザインとしております。

2. 量産先行車の特徴(別紙1,2)

- ・「空気ばね式車体傾斜方式」を採用し、現行E351系「振り子式車体傾斜方式」と同等の走行性能を実現します。
- ・動揺防止装置(一部先頭車・グリーン車)を採用することにより、乗り心地を向上します。
- ・室内照明にはLEDを採用し、消費電力の低減を図ります。

3. 運用区間

中央本線(東京～塩尻)

篠ノ井線(塩尻～松本)

中央線新型特急電車E353系量産先行車の概要

外観・内装コンセプト

外観コンセプト

伝統の継承、未来への躍動

内装コンセプト

南アルプスと梓川の「きよらかさ」、ビジネスの「機能性」とレジャーの「高揚感」



普通車室内イメージ



グリーン車室内イメージ

快適な車内環境

走行中の振動を低減する動揺防止装置を一部の先頭車とグリーン車に搭載し、乗心地を向上します。

静粛性を向上した床構造とします。

空気清浄機を設置し、快適な車内空間を提供します。

空調を個別吹き出しとし、各座席で風向きと風量の調整をできるようにします。

観光・ビジネスユース等への対応

各座席にパソコンを置くテーブルとコンセントを設置します。

車内案内表示器にフルカラーLEDを採用し、行先・停車駅案内等のほか運行情報やニュースなどを配信します。

安心してご利用いただける車内設備

改良型ハンドル形電動車いすがご利用いただける大型トイレ・多目的室・車いすを固定可能な座席を設置します。

各客室とトイレ内には乗務員と連絡可能な非常通話装置を設置します。

各客室の出入口に防犯カメラを設置します。

自動体外式除細動器(AED)を1編成に1台設置します。



E353系量産先行車 車両イメージ

中央線新型特急電車E353系量産先行車の諸元

	 <p>E353系量産先行車</p>	 <p>E351系</p>
編成	基本編成：9両編成（5M4T） 付属編成：3両編成（2M1T）	基本編成：8両編成（4M4T） 付属編成：4両編成（2M2T）
定員	9両編成（G：30名、普：502名） 3両編成（G：なし、普：154名）	8両編成（G：50名、普：423名） 4両編成（G：なし、普：240名）
最高速度	130 km/h	同左
車体	アルミニウム合金製	鋼製
制御方式	VVVFインバータ制御	同左
シートピッチ	グリーン車：1,160mm、普通車：960mm	グリーン車：1,160mm、普通車：970mm
車体傾斜方式	空気ばね高さ制御	コロ式制御付振り子
主な設備	一部先頭車とグリーン車に動揺防止装置を装備	-
	改良型ハンドル形電動車いす対応の大型トイレ、多目的室を設置	車いす対応のトイレ、多目的室を設置
	客室と全てのトイレ内に非常通話装置を設置	客室に非常通話装置、車いす対応トイレに連絡ブザーを設置
	客室内出入口に防犯カメラ設置	-
	室内にLED照明を設置	蛍光灯
	各座席に電源コンセント設置	-
	各車両に空気清浄機を設置	-